※令和４年度以降入学生用

学校番号	110

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　古典探究（数研出版）						
副教材等	三訂版　体系古典文法（数研出版） 三訂版　体系古典文法　学習ノート（数研出版） 古典文法習得のための敬語マスターノート（数研出版） 三訂版　古文ウイニングクリア２（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、１年生で身につけた基礎的な国語の力をもとに、さらに発展的な学習に取り組んでいきましょう。
・１年生で身に付けた文法の力を多いに活用して、数多くの作品を読み、語彙力をさらにしっかりと身につけて、作品の世界を読み味わう態度を身につけましょう。
・予習として、必ず本文に目を通し、古語の意味調べをしておきましょう。

２　学習の到達目標

・文章の内容や構成、登場人物の心情を的確にとらえることができる。
・古文の言葉遣い、古文常識および歴史的な背景を十分に理解して文章の内容を理解し、言語をはじめとした伝統的な文化に関心をもっている。
・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や感心を深めることによって人生を豊かにする態度を育んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歌物語 ［教材］初冠（伊勢物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：［読］作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	歌物語 ［教材］をばすて山（大和物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	随筆 ［教材］すさまじきもの（枕草子）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	日記文学㈠ ［教材］物語（更級日記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。b[読]：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
二学期	物語 ［教材］光源氏誕生（源氏物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	物語 ［教材］藤壺の入内（源氏物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについ文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。て理解を深めている。 b[読]： c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	随筆		記述の点検・定期考査		記述の分析・行動の確認

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ゆく河の流れ（方丈記）	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。		記述の確認及び分析・定期考査	
	歴史物語 ［教材］南院の競射（大鏡）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
三学期	軍記物語 忠度の都落ち（平家物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 c：忠度の心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認
	和歌・歌謡・俳諧 やまと歌は・六歌仙（古今和歌集仮名序）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	記述の点検・定期考査	記述の確認及び分析・定期考査	記述の分析・行動の確認

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間